

昭和二十四年五月二十一日提出  
質問 第二一九号

宮城縣栗原郡岩ヶ崎町における百日咳ワクチン禍事件に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十四年五月二十一日

提出者 高橋清治郎

衆議院議長 幣原喜重郎殿

宮城縣栗原郡岩ヶ崎町における百日咳ワクチン禍事件に関する質問主意書

右主題に関し次の質問をする。

昭和二十三年十一月二十三日と同二十九日二回にわたり二百九名の乳幼児にワクチン注射を施したところ、悪質反應を呈するもの六十四名続出し、そのうち一名は遂に死亡するに至った。事件発生以來すでに三箇月を経過した今日、当局の調査により原因はすでに明かになったことと思うが、その責任の帰する所を明白にされたい。

なお当局は、これによる犠牲者及びその家族に対する弔慰はもとより、患者の治療については万全の措置を講ずるとともに、生活上の援護を要する者の処置について当然適切なる方法を講ずべきであるが、これらに対していかなる具体的対策を講じたか、明確なる回答を要望する。

岩ヶ崎町は昭和二十二年、二十三年の兩度にわたり打ち続く水害のため、財政すこぶる窮境にあり、現在これらの患者の入院費一箇月約百万円を要する事情では、一、二箇月の短期ならば何とか方法も考慮され

るが、今後何箇月続くか見当がつきかねる今日、万策つきて幾度となく、関係当局に陳情を重ねつつある実情である。よつて当局は、速かに國家補償、あるいはその他適當の方法により直ちに誠意ある救済の途を講ずべきであるが、その具体的方法如何。

右質問する。